

ピアノ学習者と指導者のための 音楽歴史紀行

第3回 古典派音楽を楽しもう!

モーツァルトの魅力



講師：久元祐子

東京藝術大学音楽学部（ピアノ専攻）を経て同大学大学院修士課程を修了。
ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ウィーン・サラホン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。

知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。

ブロードウッド（1820年製）ペーゼンドルファー（1829年製）、ブレイエール（1843年製）、エラール（1868年製）などのオリジナル楽器を所蔵。歴史的楽器を用いたの演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。

ショパン生誕200年記念年には、全国各地でブレイエールを使っている演奏会に出演。軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、日本人で唯一ペーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。

2012年、14年、17年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。毎日21世紀賞を2度にわたり受賞。これまでCD13作をリリース。「優雅なるモーツァルト」は毎日新聞 CD 特産盤、レコード芸術特選盤に選ばれ「ベートーヴェン テレーゼ”ワルトシュタイン”」はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を得る。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」（音楽之友社）、「モーツァルトはどう弾いたか」（丸善）、「原典版で弾きたい！モーツァルトのピアノ・ソナタ」（アルテスパブリッシング）、「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」「ショパンとブレイエール・ピアノ」「リストとペーゼンドルファー・ピアノ」（学研プラス）など多数。<https://www.yuko-hisamoto.jp/>

第1部 13:30～14:15

レクチャーコンサート

『モーツァルトってどんな人？』

どんな子どもだったんだろう？

ステキな音楽の秘密は？

【演奏曲】

* ナンネルの楽譜帳、ロンドンの楽譜帳より
* トルコ行進曲、他



第2部 15:00～17:00

演奏法・指導法セミナー

『モーツァルト作品の演奏法について』

- * 古典派の様式について
- * ほかの作曲家と違うモーツァルト作品の特徴とは
- * モーツァルトらしい演奏のポイント
- * ピアノソナタ KV.570 を徹底解剖

主催：能登ピアノレスナー会

お問い合わせ・お申込み

石島亜希子(代表) 090-2090-1861

藤井敏子(事務局) 090-8269-8136

* レッスン等で出られないこともあります
その場合は留守電に入れていただくかSMSでお知らせください

助成：いしかわ県民文化振興基金

後援：七尾市教育委員会、七尾市文化協会
北国新聞社、ラジオななお

2019年3月3日(日)

七尾美術館アートホール

参加人数を記入の上、担当の先生もしくは能登ピアノレスナー会までお知らせください。

ふりがな
お名前：

第1部のみ(1,000円)

名

第1部のみ親子ペア(1,500円)

組

幼児～低学年のお子様は安全のため保護者様の同伴をお願いいたします。

第2部のみ(3,000円)

名

第1部～第2部通し(3,500円)

名

資料の準備のため、
なるべく2/25までに
お申込みください